



平成18年11月10日

各位

会社名 応用地質株式会社

代表者の
役職氏名 代表取締役社長 田矢 盛之
(コード番号 9755 東証第一部)問合せ先 常務執行役員 経営企画本部長
佐々木 和彦
TEL:03-3234-0811平成18年12月期 通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年2月16日の平成17年12月期決算発表時に公表した平成18年12月期の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成18年12月期 連結通期業績予想の修正（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年2月16日発表)	37,800	1,750	710
今回修正予想(B)	38,700	2,220	1,240
増減額(B-A)	900	470	530
増減率	2.4%	26.9%	74.6%
(ご参考) 前期実績(平成17年12月期)	43,343	1,669	970

2. 平成18年12月期 個別通期業績予想の修正（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年2月16日発表)	24,900	1,150	450
今回修正予想(B)	24,600	1,120	720
増減額(B-A)	△300	△30	270
増減率	△1.2%	△2.6%	60.0%
(ご参考) 前期実績(平成17年12月期)	23,977	1,276	497

3. 修正を生じた理由

平成18年12月期の個別業績は、国内建設投資が減少基調で推移している状況下、売上と経常利益が、期初の予想を僅かに下回る見込みですが、応用アール・エム・エスの会社分割に伴う株式売却益などにより、当期純利益は増益となる見込みです。

連結業績は、調査事業でアスベスト関連分野で売上を拡大していること、計測機器事業では、活況な資源開発市場への探査装置の販売が好調であり、地震計の中国向け大型案件などにより、売上が期初の予想を上回る見込みです。

また、上記株式売却益に加え、持分法による投資利益の増加などにより、経常利益ならびに当期純利益が増益となる見込みです。

以上